

富士フィルム レスポンシブル・ケア方針

1 基本方針

一人一人の社員、一つ一つの組織がレスポンシブル・ケアに自主的・継続的に取り組み、「環境・安全上健全であり続ける富士フィルム」を実現する。

2 行動指針

- (A) 法律、及び当社が同意するその他の要求事項を順守する。
- (B) 製品ライフサイクルのすべての段階において、環境負荷低減及び安全の確保に努める。
- (C) 無事故・無災害操業の確保に努める。
- (D) 顧客サイドの環境保全及び安全の確保に役立つ適切な情報を提供する。
- (E) 社会との適切なコミュニケーションを確保する。

3 重点実施事項

- (A) ISO14001に準じた管理体制の整備と充実
 - (a) 当社で製造・取扱う化学物質のリスク評価の実施体制を充実する。
 - (b) PRTR法に対応した化学物質管理体制を充実する。
 - (c) 原材料、機器、備品、用品等の“グリーン購入”“グリーン調達”体制を充実する。
 - (d) 環境保全への取り組みを評価するための環境会計管理システムを確立する。
 - (e) 容器包装について環境負荷を削減するためのシステムを整備する。
- (B) 環境・安全パフォーマンスの改善
 - (a) 懸念化学物質の使用量削減、排出量削減、代替物質開発等によるリスク低減を実施する。
 - (b) 有機溶剤の大気排出量を2002年までに50%（1996年度基準）削減する。
 - (c) “ゼロ・エミッション”に向けて、廃棄物の減量化、再利用、再資源化を推進する。
 - ・焼却・埋立て廃棄物を2002年までに50%（1996年度基準）削減する。
 - ・製品使用に際しての廃液・廃材・廃機器の無排出を目指した商品化を推進する。
 - (d) 省エネ及び炭酸ガス排出削減施策を推進する。
51千トンC/年以上の炭酸ガス排出削減効果をもたらす施策を2010年までに実施する。
（この削減量は、1998年度炭酸ガス排出量の26%に相当する。）
- (C) 社会との適切なコミュニケーションの推進
 - (a) MSDSによる情報開示の充実等、必要な環境・安全情報を顧客へ適切に提供するための体制を確立する。
 - (b) 環境レポートの充実、富士フィルムホームページの活用などを通じ、当社のレスポンシブル・ケアへの取り組みを適切に社会に伝える。